

第一回 堅磐事業検討委員会

議事概要

(1) 日時 平成 23 年 2 月 24 日 (木) 10:00-11:30

(2) 会場 久慈川日立南交流センター会議室①②

(3) 出席者:出席者名簿のとおり【資料:出席者名簿】

(4) 議事概要【資料:議事次第】

①委員会設立趣旨、委員会規約(案)について【資料:委員会設立趣旨及び規約(案)】

- 事務局より、当該委員会の設立趣旨ならびに委員会規約(案)を説明
- 審議結果
 - 委員会の設立趣旨について了承された。
 - 委員会規約(案)の内容について了承された。

②委員長選出について

- 委員から、河川全般に関する広い知見を有し、国土交通省のリバーカウンセラーも務めている武若委員を委員長に推挙したい旨の提案がなされた。
- 審議結果
 - 全会一致で武若委員に委員長をお願いすることが了承された。

③堅磐地区河道掘削事業概要について【資料-1】

- 事務局より資料-1にもとづき事業の計画概要について説明した。
- 審議結果
 - 事業の計画概要について了解された。
 - 委員からの主な意見及び質疑結果は以下のとおりである。
 - ◇ 事業期間について質問があり、予算等により明言できないことを説明した。
 - ◇ 事業は、治水と環境の両面のバランスをとるため、ポジティブな意味でのテストケースと考えることができるという意見が示された。
 - ◇ 水路下流が干潟状のワンドになり、豊かな環境が出来上がるのではないかと期待が示された。

④サギ類等コロニーの調査結果について【資料-2】

- 事務局より資料-2にもとづき平成 22 年度の調査結果を中心にコロニー及びアユ産卵床の状況を説明した。
- 審議結果
 - サギ類コロニー及びアユ産卵床の調査結果について、了解された。
 - 委員からの主な意見、質疑結果は以下のとおりである。
 - ◇ 堅磐地区は、久慈川で最も重要なアユの産卵床であり、低水路に手を加えない方針が適切であるとの意見が示された。
 - ◇ サギによる食害に関する意見交換の結果、漁業に影響するような事態は想定しづらいとの見解が示された。

⑤堅磐河道掘削工事について【資料－３】

■ 事務局より資料－３にもとづき工事の概要が説明された。

■ 審議結果

- これまでに実施された工事、現在進めている工事についてご理解いただいた。
- 委員からの主な意見及び質疑結果は以下のとおりである。
 - ✧ 工事期間について質疑があり、工事はサギのいない冬期に行うことを基本としつつ、工期延長が必要な場合は、委員の意見を頂きながら、最長では６月まで工事を行う可能性もある旨を事務局から説明した。
 - ✧ 高水敷に水路を整備することによって、人が入りやすくなることから、人に対する安全確保やコロニーの保全について、今後の課題とする。
 - ✧ 掘削土の活用について質問があり、実施済みの工事における掘削土は有効活用した旨の説明がなされた。
 - ✧ 今後、工事区間がコロニーに近づいていくことになるため、必要に応じて委員の意見を聞きながら、慎重に工事を進めていくことで了解された。
 - ✧ 現在施工している掘削機械の数はバックホウ２台程度と運搬用のダンプと少ないため、特段の問題とはならないとする見解が示された。
 - ✧ 工事のための道路を存置するとモトクロスの侵入などが想定されるので、対応を検討すべきとの意見が出された。

⑥モニタリングの進め方について【資料－４】

■ 事務局より資料－４にもとづき当面のサギ類コロニーのモニタリングの進め方が説明された。

■ 審議結果

- サギ類コロニーを常時監視する当面のモニタリング方針が了解された。
- 委員からの主な意見及び質疑結果は以下のとおりである。
 - ✧ 常時監視の重要性、コロニー形成の引き金となるアオサギの定着をモニタリングする意義について委員より説明があった。
 - ✧ 現在のモニタリングは、アオサギの営巣時期を想定し一旦３月に完了するものとするが、23年度に実施する調査については、方針が固まった段階で委員に報告することとなった。
 - ✧ 常時監視カメラのモニタリング範囲については概ねコロニー全体が対象となることが確認された。

以上